

ドイツFS(2015年度)

ドイツ再統一25周年——ドイツ東部の暮らしと自然

辻 英史／杉戸信彦

2016年3月12-22日 参加25名（1-3年生） 費用約25万円

FSの目標・ねらい

- すでに地図から消えてしまった国＝東ドイツの痕跡を探す。その歩みはどんなものだったのか。なぜ消えた？
- 再統一後の25年間でドイツはどのように変わったのか。現在どんな問題を抱えているのか？
- 戦後ドイツ70年の歴史の歩みを振り返る。
- 日本やアジアの今後を考える手がかりはどこかにないか？



このFSの特徴

- まちづくり、エネルギー問題、住宅問題など、現在のドイツの状況について、現場の声を聞ける（通訳つき）。
- 現地の人たちと交流する（英語／日本語その他何でもあり）
- ドイツの暮らしを体感できる→宿泊はユースホステル、鉄道で移動、食事は分散して各自レストランへ、夜はコンサートなどオプションプログラムあり

2015年度ドイツFS地図



旧東ドイツ1949-1990
(ドイツ民主共和国)



ベルリン
(3/19-21)
・ベルリン大使館訪問 (佐藤公紀さん)
・DDR博物館
・チェックポイント・チャーリー記念館
・コンサート
・自由行動

ザルツヴェーデル近郊
(3/18)
・モルスレーベン放射性廃棄物貯蔵所
・国境グリーンベルト

コトブス
(3/19)
・旧市街の再開発プロジェクト、減築プロジェクトの見学

マグデブルク
(3/15-17)
・旧市内まちあるき
・都市開発プロジェクト
・IkuGa
・マグデブルク独日協会メンバーと交流
・卵投げ事件

ドレスデン
(3/12-14)
・旧市内まちあるき
・聖母教会
・連邦軍軍事博物館

ハレ
(3/14-15)
・まちあるき
・ハレ大学学生との交流

ライプツィヒ
(3/14)
・1989年革命の市内ツアー
・ルンデ・エッケ博物館 (秘密警察資料館)

出典: Der Grosse Ploetz Atlas zur Weltgeschichte, Göttingen 2009, S. 221.